

関西経済レポート(9月号)

- ➡ 生産は7月も緩やかな上昇を維持
- ➡ 8月の輸出の伸びは引き続き加速、輸入も8カ月連続で上昇
- ➡ 消費者マインドは依然高水準ながら調整局面が続く
- ➡ 7月の大型小売店販売額は前年比マイナス、好調な新設住宅着工は8月に調整
- ➡ 8月の求人倍率は引き続き改善傾向にあるが、失業率は悪化
- ➡ 7月の建設工事はプラスが継続、8月の公共工事受注額も堅調に増加
- ➡ 8月の中国製造業購買担当者景況指数は上昇し、見通しが改善

※「近畿」・「関西」は、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県。
鋳工業生産、大型小売店販売額のみ、福井を含む2府5県。

～目次～

生産	1
輸出入	2
消費者センチメント	3
個人消費・住宅	4
雇用	5
公共投資	6
中国経済動向①	7
中国経済動向②	8

～生産～

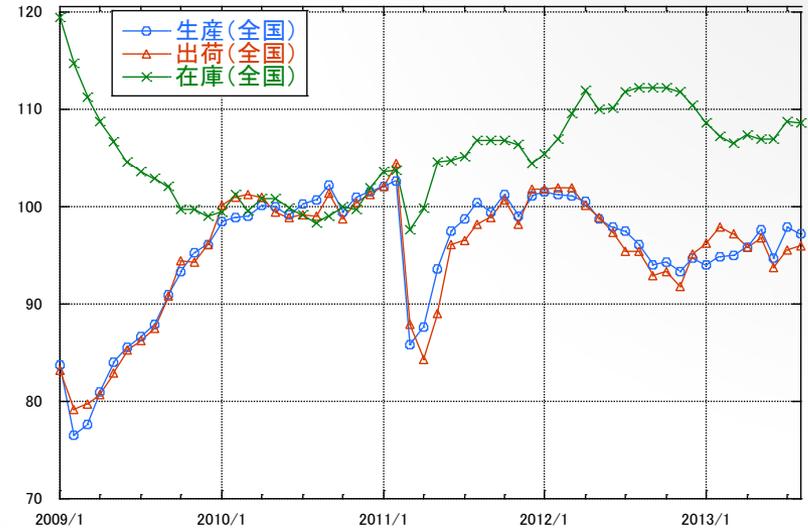
鉱工業指数の推移(近畿・2013年7月まで), 2005年=100



(データ出所: 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局)

- 関西7月の鉱工業生産指数(確報値: 季節調整済)を見ると、生産は91.3で前月比+0.6%と2カ月ぶりの上昇。出荷は91.3で同+0.6%、在庫は104.3で同+3.4%と、いずれも3カ月ぶりの上昇となっている。
- 業種別にみると、化学(除. 医薬品)、鉄鋼、電子部品デバイス等が上昇した。一方、一般機械、窯業・土石製品、情報通信機械等が低下した。
- 緩やかではあるが、着実な生産の回復が続いている。

鉱工業指数の推移(全国・2013年8月まで), 2010年=100

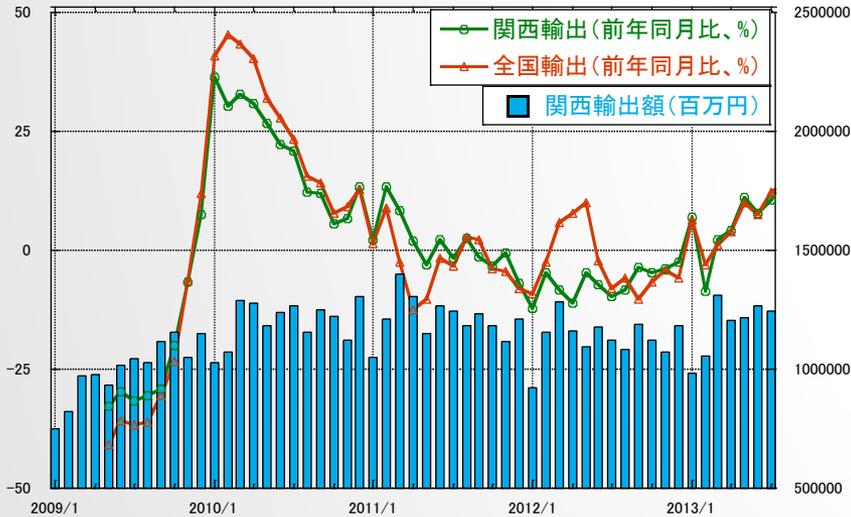


(データ出所: 「鉱工業指数」、経済産業省)

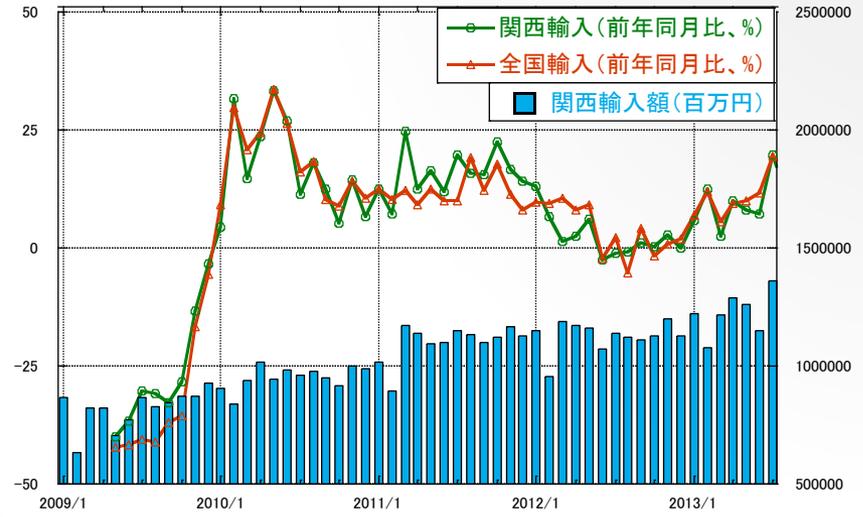
- 全国における8月の鉱工業生産指数(速報値、季節調整済)は97.2となり前月比-0.7%で2カ月ぶりの下落となった。出荷は96.0で同+0.4%と2カ月連続の上昇、在庫は108.6で同-0.1%と3カ月ぶりの減少であった。
- 業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械、化学(除. 医薬品)、輸送機械等が低下した。一方、電気機械、金属製品、パルプ・紙・紙加工品等が上昇した。
- 8月の生産(製造工業: 前月比-0.8%)は生産予測調査結果から下方修正(同+0.2%)された。しかし、今月の予測調査によれば、9月の生産計画は増産の見込み(同+5.2%)となっており、10月も同様に回復が期待される(同+2.5%)。

～輸出入～

輸出動向（右：輸出額、左：前年同月比）（2013年8月まで）



輸入動向(右:輸出額、左:前年同月比)(2013年8月まで)



(データ出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」(平成25年8月分(速報値))、大阪税関調査統計課)

(データ出所:「財務省貿易統計」(平成25年8月分(速報値))、財務省)

- 関西における8月の輸出額(速報値)は1兆2,570億円、前年同月比+15.7%と6カ月連続の増加となった。
- 半導体等電子部品、鉄鋼、有機化合物が大幅に増加。
- 全国の8月の輸出額(速報値)は5兆7,837億円、前年同月比+14.7%と6カ月連続の増加。足下の輸出の伸びは近畿、全国共に加速している。
- 関西の輸出を地域別にみると、アジア(前年同月比+16.5%、6カ月連続)、中国(同+17.5%、6カ月連続)、米国(同+12.6%、8カ月連続)、EU向け(同+17.2%、3カ月連続)輸出はいずれも増加を続けている。

- 関西における8月の輸入額(速報値)は1兆2,479億円、前年同月比+11.2%と8カ月連続の増加。
- 衣類及び同付属品、天然ガス及び製造ガス、原油及び粗油が大幅に増加。
- 全国の8月の輸入額(速報値)は6兆7,440億円、前年同月比+16.0%と10カ月連続の増加。

～消費者センチメント～

消費者態度指数(原数値、2013年8月まで)



(出所)内閣府「消費動向調査」

- 関西の8月の消費者態度指数(原数値)は前月比+0.1ポイント上昇し43.4となった。3カ月ぶりのプラス。
- 同指数の構成項目をみると、「暮らし向き」が同-0.7ポイント、「収入の増え方」が同-0.1ポイントといずれも3カ月連続で下落したものの、「雇用環境」が同+0.3ポイント、「耐久消費財の買い判断」が同+0.9ポイントといずれも3カ月ぶりに上昇した結果、同指数の下げ止まりとなった。
- 全国の8月の消費者態度指数(季節調整値)は43.0となり、同-0.6ポイント下落した。3カ月連続の下落。全国・関西とも依然高水準であるものの、調整局面が続いている。

景気ウォッチャー調査(2013年8月まで)

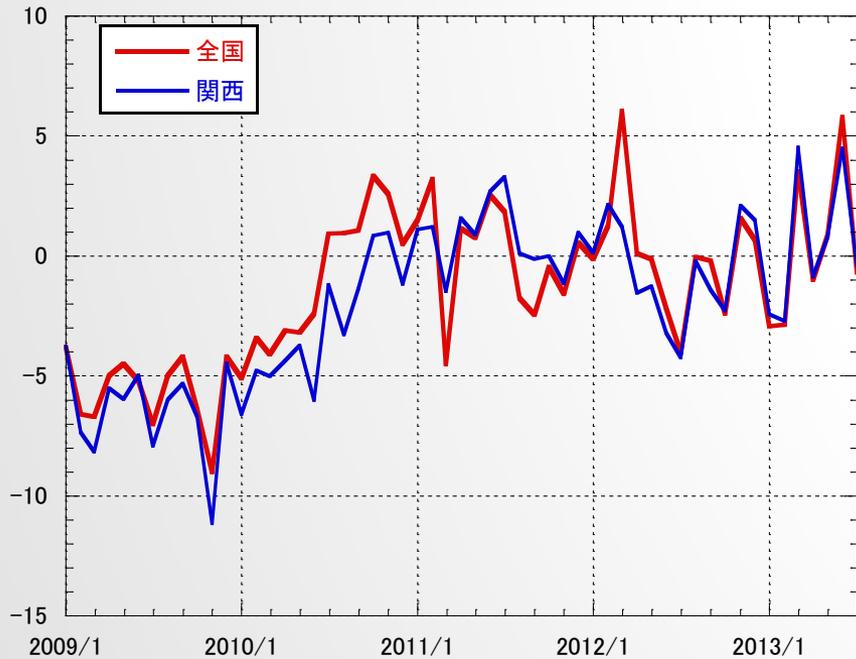


(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

- 関西の8月の現状判断DIは前月比-1.8ポイントの51.4と、5カ月連続で低下した。低下の理由としては、猛暑や豪雨といった気温・天候要因や、ガソリンや小麦など諸物価の上昇などから客足が鈍化したことなどが考えられる。また全国の現状判断DIも同-1.1ポイントの51.2と5カ月連続で低下している。
- 関西の先行き判断DIは同-0.6ポイントの52.3と、6カ月連続で低下。諸物価の上昇が消費マインドの低下につながったとみられる。全国の先行き判断DIは同-2.4ポイントの51.2と、6月は前月比下落、7月は同横ばい、8月は再び下落した。

～個人消費・住宅～

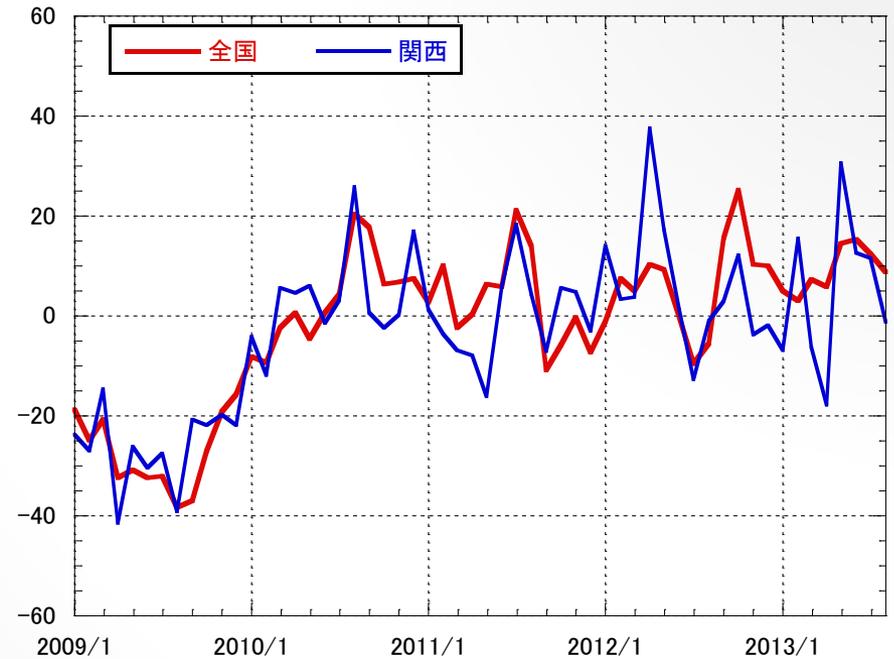
大型小売店販売額(前年同月比:%、2013年7月まで)



(注)福井県を含む。
(出所)近畿経済産業局

- 関西の7月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比-0.4%と3か月ぶりのマイナス。
- 百貨店も同-0.8%と9か月ぶりにマイナスに転じた。
- 前月のクリアランスセール前倒しの反動などにより衣料品などが前年を下回った。
- なお全国でも、7月の大型小売店販売額(全店ベース)は同-0.7%と3か月ぶりにマイナスとなっている。

新設住宅着工(前年同月比:%、2013年8月まで)

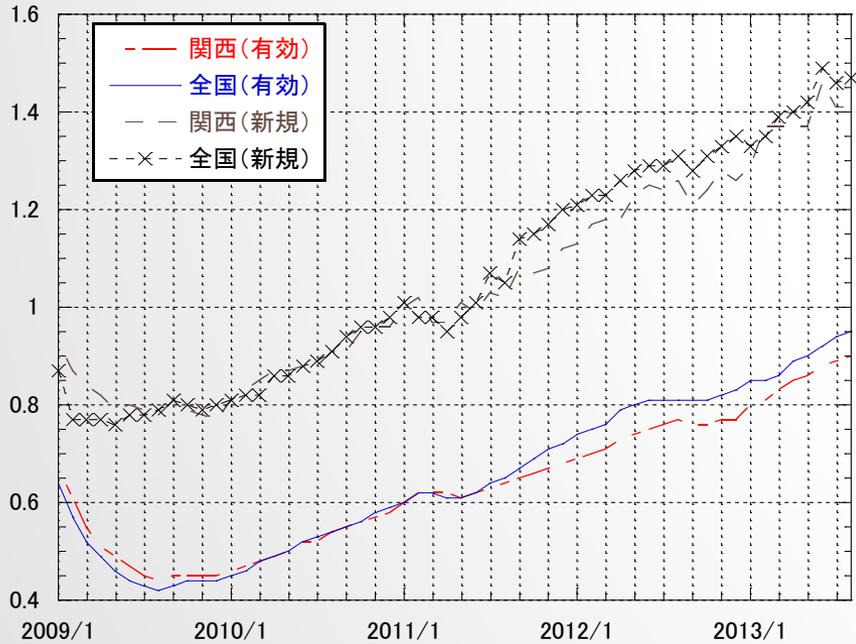


(出所): 国土交通省「住宅着工統計」(平成25年9月30日公表)

- 8月の新設住宅着工戸数は11,537戸。前年同月比-1.2%と4か月ぶりに減少した。利用関係別にみると、持家は同+12.8%と7か月連続の上昇、貸家が同+3.1%と2か月連続の上昇。一方、分譲が同-15.5%と4か月ぶりの低下となった。全国の新設住宅着工戸数は同+8.8%と12か月連続で上昇。
- 8月のマンション契約率(出所:不動産経済研究所「マンション市場動向」)は79.0%(季節調整値、APIR推計)。好不調の目安とされる70%を18か月連続で上回っているものの、前月(84.6%)から低下した。
- 消費増税による駆け込み需要・相続税制改正に伴う節税対策から、住宅市場は好調を維持しているものの、分譲住宅の低下から、8月は幾分停滞した。

～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値、2013年8月まで）



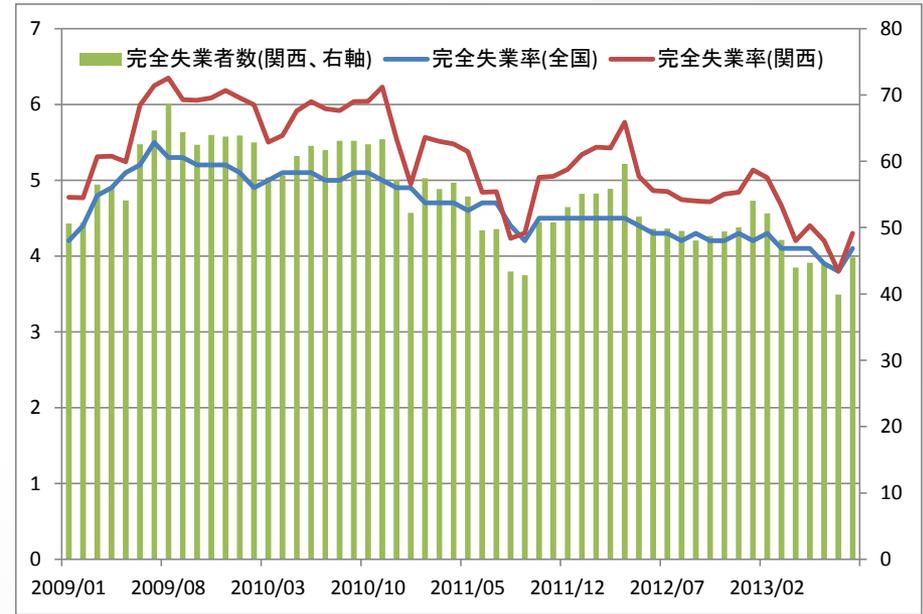
（出所）厚生労働省(2013年10月1日公表)

地域別有効求人倍率2013年8月

	全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
8月	0.95	0.78	1.01	0.98	0.89	1.11	1.15	0.90	1.07	1.01	0.77
7月	0.94	0.77	1.00	0.96	0.88	1.08	1.14	0.89	1.06	1.01	0.77

- 8月の関西の有効求人倍率は0.90倍、前月から0.01ポイント上昇。8カ月連続の改善となった。
- 全国は0.95倍で、同0.01ポイントの上昇。6カ月連続の改善となった。
- 8月の新規求人倍率は、全国は1.47倍と2カ月ぶりに改善したが、関西は1.41倍と前月から横ばいとなった。

完全失業率の推移（季節調整値：%、2013年8月まで）

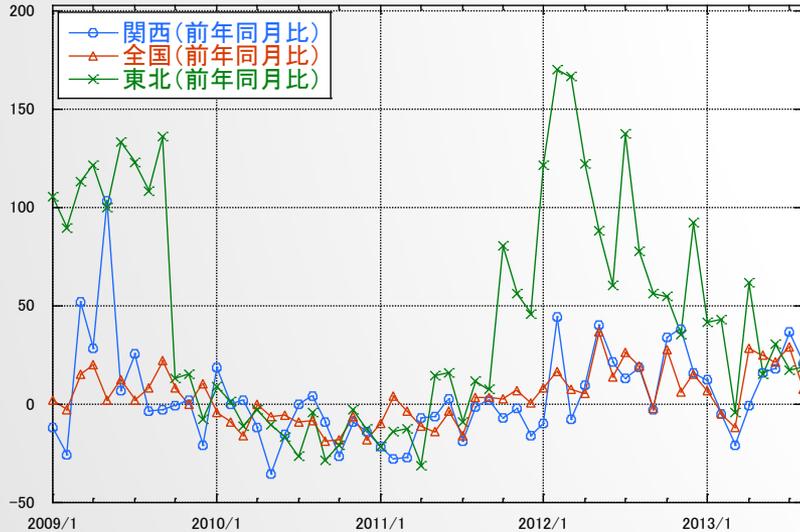


（出所）総務省「労働調査」(2013年9月30日公表)

- 8月の関西の完全失業率（季節調整値：APIR推計）は4.3%となり、前月から0.5%ポイント上昇し、3カ月ぶりの増加。
- 全国の完全失業率（季節調整値）は4.1%となり、3カ月ぶりの悪化。
- 関西の完全失業者数(季節調整値：APIR推計)は45.5万人。前月から5.7万人の増加となった。

～公共投資～

公共工事前払保証額(前年同月比:%、2013年8月まで)



(注) 福井県を含む。
 (出所) 「公共工事前払金保証統計」(平成25年8月分)、東日本建設業保証株式会社

- 関西8月の公共工事前払保証額は1,191億円。前年同月比+20.8%と4カ月連続のプラスとなり、伸びは依然高水準。
- 全国は1兆2,267億円となり、同+7.9%。
- 東北は2,586億円と同+19.0%で、いずれも5カ月連続のプラス。
- 季節調整値(APIR推計)で見ると、8月の保証額は関西、全国とも前月比で2カ月ぶりの減少となった(関西:-2.6%、全国:-10.8%)。公共工事はやや一服している。

建設工事(前年同月比:%、2013年7月まで)

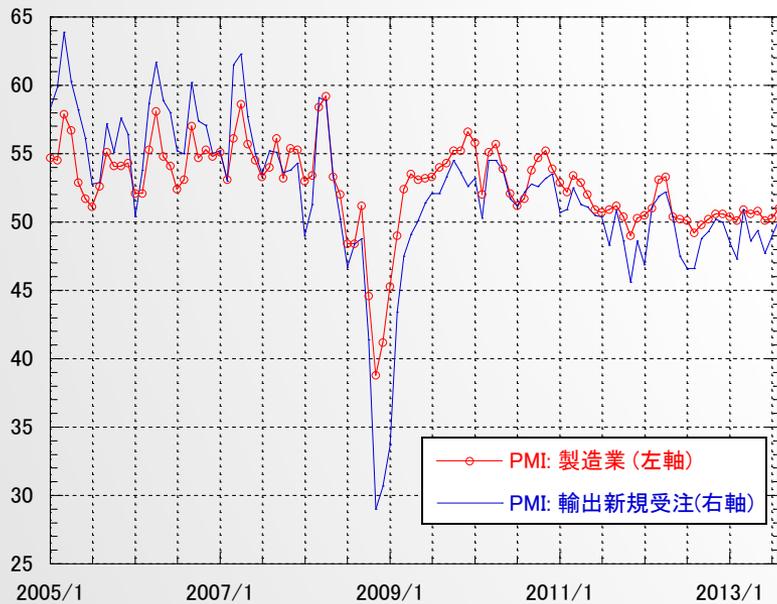


(出所) 国土交通省「建設総合統計」(平成25年7月分)

- 関西における7月の建設工事(民間+公共)は4,533億円。前年同月比+8.2%と15カ月連続のプラス。
- 東北は4,345億円と同+23.0%となった。24カ月連続のプラス。伸び率は5月を底に再び加速。
- 同月の全国の建設工事(公共)は1兆3,975億円。同+25.8%と18カ月連続のプラス。全国も、建設工事(公共)の伸びは3月を底に加速している。

～中国経済動向①～

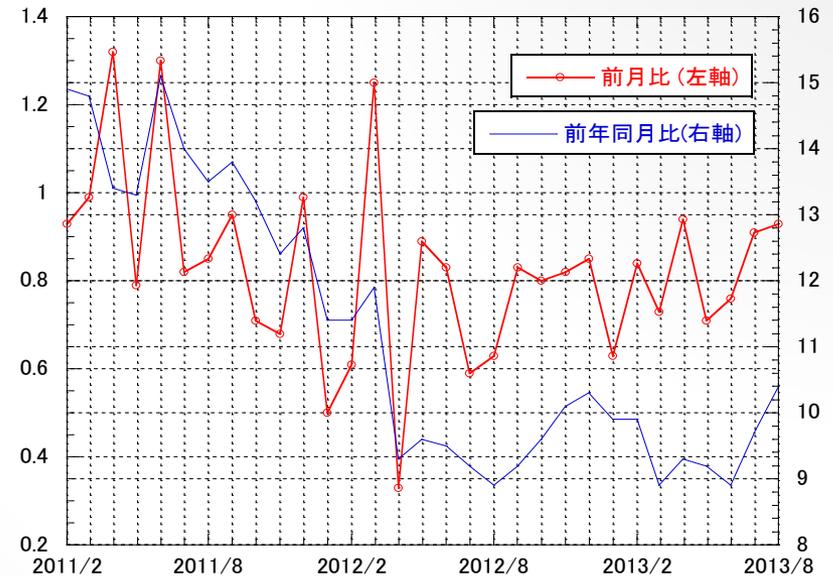
中国購買担当者景況指数(2013年8月まで:%)



出所：中国国家统计局; CEICデータベース

- 8月の製造業PMI(購買担当者景況指数: 季節調整値)は51.0となり前月(50.3)よりやや上昇した。
- 生産指数と新規受注指数はそれぞれ52.6と52.4となり、いずれも前月(52.4, 50.6)より上昇。
- 8月の輸出新規受注指数は50.2となり、前月(49.0)より回復し、5カ月ぶりに50を上回った。

工業生産動向(2013年8月まで:%)

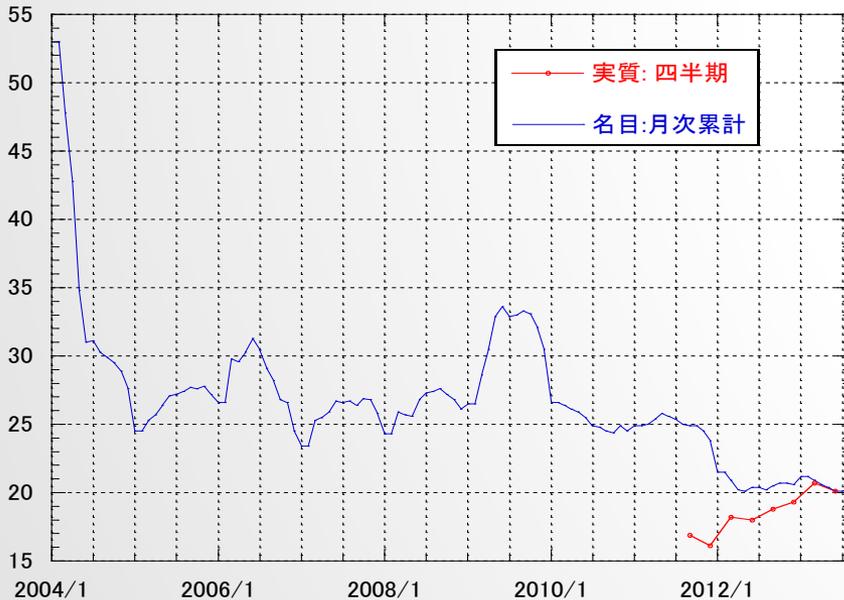


出所：中国国家统计局; CEICデータベース

- 8月の工業生産は前月比+0.93%となり、7月の同+0.91%からほぼ横ばい。前年同月比では、8月は+10.4%となり、前月(+9.7%)より上昇し、8カ月ぶりに2桁の伸びとなった。
- 地域別でみると、東部は前年同月比+9.3%、中部は同+11.4%、西部は同+12.9%となり、いずれも7月より上昇した。

～中国経済動向②～

固定資産投資 (2013年8月まで:%) (累計伸び率)



出所：中国国家统计局;CEICデータベース

- 1-8月期における(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+20.3%となり、前期(1-7月期、+20.1%)から微増した。
- 産業別の伸びを見れば、第1次産業32.0%、第2次産業16.6%、第3次産業23.0%となった。

中国の輸入・輸出(2013年8月まで; 前年同月比)



出所：中国労働市場情報観測センター;CEICデータベース

- 8月の中国の輸出額は前年同月比+7.1%(確報値、ドル・ベース)となり前月(同+5.1%)から加速。
- 輸入額は同+7.0%(確報値)となり前月(同+10.9%)から伸びは低下。
- 結果、中国の純輸出(確報値)は、285.2億ドルとなり、前年同月比+8.0%となり、前月(-29.7%)よりプラスに転じた。
- 対日輸入額は同-9.0%となり、前月(同-9.6%)に比してマイナス幅は引き続き縮小傾向にあるが、依然、2011年4月から減少トレンドにある。